

第七十四回
帝國議會
貴族院

船舶建造融資補給及損失補償法案特別委員會議事速記録第三號

昭和十四年三月二十三日(木曜日)午後一時三十五分開會

○委員長(伯爵後藤一藏君) ソレデハ只今カラ前會ニ引續キ會議ヲ開キマス、八田商工大臣ガ御出デニナッテ居ラレマスカラ、朝鮮政務總監モ御出デニナッテ居ラレマスカラ、御質疑ガアリマシタラドウゾ……

○村田省藏君 時間モゴザイマセヌカラ、極ク簡單ニ御質問申上ゲヨウト思フノデアリマス、今回政府カラ御出シニナリマシタ三法案、殊ニ其ノ中デ造船事業法案デアリマスガ、此ノ御説明ニ依ルト、造船事業法案ハ之ニ依ッテ事業經營ノ基礎ヲ強固ニシテ、サウシテ能フ限り優秀ナ經濟船ヲ低廉ニ供給スルト云フヤウニ承ツテ居リマス、然ルニ此ノ造船事業法ヲ御發布ニナリマシテモ、今日ノヤウニ鋼材ノ價格ガ高イト云フト、此ノ事業法デ果シテ優秀ナ經濟船ヲ廉價ニ供給シ得ルヤ否ヤ、先

日企畫院總裁ノ御話デハ其ノ資材ノ供給ニ付テハ萬難ヲ排シテ實行スルト云フ御言明ガアツクデアリマス、併シ此ノ供給ガ實行サレマシテモ、只今必要ナ生産力擴充ノ上カラ、又國民生活ノ必需品ノ輸送ノ上カラ、

更ニ又外貨獲得ノ點カラ申シマシテ、優秀ナ經濟船ヲ造ルニハ、斯ウ云フ鋼材ノ價格デハ到底其ノ目的ヲ達シ得ナイト思フノデアリマス、ソレデ斯ウ云フ重要ナ使命ヲ持ッテ居リマスル船舶ヲ建造スルコトニ對シテ、此ノ以外ニ何カ特殊ノ便宜デモ御與ヘニナル御考ガアリマスカ否ヤ、又斯ウ云フヤウナ船舶ヲ建造スルニ當リマシテ、軍需産業ト同様ニ御覽ニナリマスカ否カ、一應ソレヲ御伺ヒシマシテ、又第二ニ御伺ヒシタイコトガアルノデゴザイマス

○國務大臣(八田嘉明君) 商工省ト致シマシテハ、一般ニ鐵礦ノ生産力擴充計畫ニ付テハ已ニ御承知ノ企劃院ニ於テ十五品目ノ今後ノ生産力擴充計畫ガアリマス、其ノ計畫ニ基キマシテソレガ實現ニ對シマシテ有ユル方面カラ努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第アルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ造船用ノ鋼材ノ供給ニ付キマシテモ、其ノ生産力擴充計畫ノ目標ニ對應致シマシテ、目下其ノ實現ニ對シテ極力過チナキヲ期シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソコデ只今御話ニナリマシタ造船ノ原價ヲ成ルベク安クスルト云フ意味ニ於キマシテ、例ヘバ鋼材ノ

價格ヲ引下ゲルト云フヤウナコトニ付キマシテモ、已ニ御承知ノ通り商工省トシテハ豫算ニ計上致シマシテ、造船用ノ鋼材ニ對シマシテ特ニ獎勵金ヲ支出致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、併シナガラ之ニ付キマシテモ唯造船用鋼材價格ヲ引下ゲルト云フ、斯ウ云フヤリ方デ引下ゲルト云フコトニ付キマシテハ矢張り限度ノアルコト思フノデアリマス、從ヒマシテ唯サウ云フ材料ノ方カラノミノ造船原價ヲ引下ゲルト云フコトハナカク困難デアルト考ヘルノデアリマス、色々ノ方面カラ協力致シマシテ造船原價ヲ引下ゲルトニ力ヲ致サナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○村田省藏君 只今ノ御話デ金融ノ點或ハ其ノ他總テノ機構ノ點、色々ナ方面カラヤッテ載クコトハ、今回ノ三ツノ法案デ能ク分ルノデアリマスガ、何ト致シマシテモ造船ニ使ヒマスル鋼材ノ價格ガ非常ナ開キガアルノデアリマス、之ヲ茲ニ公ニシテ居リマスル雜誌ガアリマスガ、此ノ雜誌デ此ノ價格ヲ見ルト云フト、「アメリカ」ノ鋼材ノ棒鋼、「ベース」デアリマス、ソレヲ日本ニ持ッテ參リマシテ、日本デ河岸著デ以テ百八十

二圓二十錢ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ板ガ、板「ベース」デアリマス、是ガ百七十四圓三錢、「イギリス」カラ、大陸カラ持ッテ參リマシテモ殆ド同ジヤウナ値段デアリマス、然ルニ日本デハ此ノ板ノ「ベース」及ビ船材デアリマスガ、是ガ二百五十圓ト云フコトニナッテ居リマス、二百五十圓ト百七十四圓、非常ナ開キガアルノデアリマス、デ、私ハ此ノ二百五十圓ト云フモノガ日本ノ總テノ鋼材ノ値段デアレバ差支ナイト思フノデアリマスガ、承ル所ニ依リマス、海軍ト鐵道ノ方ヘノ鋼材ノ供給ハ百六十圓ト云フコトニ承知致シテ居ルノデアリマス、サウスルト、今日日本デ此ノ鋼材ヲ造リマスノニハ、百六十圓デ造ッテ、是ガ損デアルカ利益デアルカ、若シ利益デアルナラバ、二百五十圓ト云フ鋼材ハ非常ニ高イデハナイカ、非常ナル暴利デハナイカ、若シ損シテ百六十圓デ海軍ナリ或ハ鐵道ノ方ヘ供給シテ居ラレルナラバ、此ノ損ヲ重要ナル使命ヲ帶ビテ居ル船舶ノ方デ補ッテ居ルノデヤナイカ、斯ウ云フコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ一應御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○政府委員(小金義昭君) 鋼材ノ販賣値段

ハ御示ノ通り外國ノ方ガ安イノデアリマス、處ガ色々關係カラ、日本ノ鋼材其ノ他ノ國際商品デアリナガラ、外國ノ値段ニ必ズシモ歩調ヲ合スコトガ出來ナイ事情ガゴザイマスモノガ相當澤山アルノデアリマス、其ノ中鋼材ノ如キハ一例カト存ジマスガ、建値ハ昨年ノ二月「トシ」當リ十圓全部ノ引下ヲ致シマシタ、更ニ十二月一日以降又十圓引下ダクノデアリマス、更ニ其ノ建値ヲ引上グル餘裕アリヤ否ヤハ私共ノ方デ十分研究致シテ居リマスガ、斯ウ云フ際デアリマスルカラ、數量ニ成ルベク不足ヲ來サナイヤウニ致シタイ、ソレデモ隨分不足致シ勝デアリマスガ、生産力擴充ノ方面ト兼合ッテ居リマスノデ、思フヤウニ、或ハ思ヒ切ッテ建値ノ引下ガ出來ナイ部分モゴザイマス、陸海軍或ハ鐵道省ニ納メル鋼材ト、ソレカラ其ノ他ノ産業ノ方ニ向ケル鋼材トニ値段ノ相違ガアルノハドウ云フ理由カ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマスガ、海軍等ニ納メマスル鋼材ハ、是ハ一定數量從來納メルコトニナツテ居リマシタノデ、其ノ契約ノ延長又ハ多年ノ取引上ノ何ト申シマスカ、長イ慣習ガアリマシテ、其ノ方デ補ッテ居ル分モアルト思ヒマス、然ラバ民間ニ賣ル方ノ殊

ニ造船用材等ニ對シテハ不當ニ高ク賣ッテ居ルノデハナイカト云フヤウナ、一應考ガ起ルダラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハ數年來船舶用鋼材ニ補助金ヲ出シテ居リマシテ、ソレデ幾ラカ「カバ」シテ來タノデアリマスガ、今日モ尙其ノ金額ハ減リマシタガ、造船用鋼材ニ對スル獎勵金ヲ出シテ居リマス、今ノ所一般市場向キ、或ハ重要産業ヘ向ケテ出ス所ノ鋼材ガ不當ニ高クナツテ居ルト云フコトノミハ考ヘテ居リマセヌガ、船舶事業ノ重要性ニ鑑ミマシテ、鋼材ノ販賣値段ニ付テハ今後各方面ト協力致シマシテ、十分善處致シタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○村田省藏君 私此ノ點ヲ強調シテ御伺ヒ致シマス趣旨ハ、今回政府ニ於テ昭和十七年ノ末迄ニ二百五十萬「トシ」ヲ造ル必要ガアルデハナイカ、是ハ生産力擴充ノ上カラ、又軍事上ノ必要カラデアルト思フノデアリマス、サウ致シマスレバ、ドウシテモ二百五十萬「トシ」ヲ造ルトシテ、斯ウ云フヤウナ鋼材ノ非常ニ高イ値段ト云フモノハ此ノ二百五十萬「トシ」計畫ヲ阻止スル一ツノ大キナ原因デナイカト、斯ウ考ヘルノデアリマス、從ッテ政府ニ於カレテモ此ノ三案ヲ出サレテ、此ノ二百五十萬「トシ」建造計畫ヲ遂

行サレヨウト御考ニナレバ、人ノ問題モアリマス、船員ノ問題モアリマス、或ハ金ノ問題モアリマス、色々ナ問題モアリマスガ、先ヅ安イ鋼材ヲ以テ船價ヲ安クスルト云フコトガ一番必要ト思ヒマス、此ノ點ニ關シマシテ前ニ申上ガタ質問ヲ敷衍シテ先程御答ガアリマシタ船價ヲ引下グルコトニ、鋼材ヲ引下グルコトニ努力スルト云フコトニ對シテ十分一ツ御願ヲ致シタイト思フノデアリマス、ソレカラ委員長、別ノ質問ヲ致シテ宜シウゴザイマセウカ

○委員長(伯爵後藤一藏君) 今拓務大臣ハ二時カラ他ニ御出ニナラナケレバナラスサウデアリマスカラ、成ルベク其ノ前ニ……

○村田省藏君 商工大臣トシテ一ツ

○委員長(伯爵後藤一藏君) ドウゾ

○村田省藏君 是ハ物價問題ニ關聯シタ問題デアリマス、物價問題ニ對シテハ、是ハ今非常ニ大キナ問題デ、中央物價委員會モ更ニ擴大シテ、物ノ公正ナル價格ヲ御定メニナラウト云フ際デアリマス、之ニ對シマシテハドウ云フ研究ノ結果ニナリマセウカ存ジマセヌガ、ドウシテモ生産「コスト」ニ迄調査ヲ進メテ行ク要ガアルト思ヒマス、サウスルト云フト、原料トカ勞銀トカ、或ハ運賃トカ利潤ト云フモノニ付テモ段々研究

ヲサレテ行カナケレバナラスト思ヒマスガ、此ノ運賃ノ如キモ相當研究ヲ要シマスノデ、之ヲ研究シ出シマス、又今申上ガタ船價トカ石炭トカ或ハ人件費トカ云フヤウナコトモ考ヘナケレバナリマセヌガ、私ハ先ヅ船腹ノ利用ト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレニハ荷物ノ輸送順位ヲ定メルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス、船腹ヲ適當ニ利用スルトハ、即チ船腹ノ腹ノ量ヲ多クシ得ルコトヲ意味スルノデアリマシテ、今日ノヤウニ亂雜ニ貨物ノ方向モ定ラズ、又重要性モ顧ミナイデ、所謂商賣人ガ先ヲ爭ッテ貨物ノ輸送ニ奔走シテ、サウシテ儲ケルト云フコトハイケナイノデ、何トカ此ノ必要ナ程度ニ於テ貨物ノ輸送ノ順位ト云フコトヲ御定メニナル必要ガアルノデハナイカト思ヒマス、是ハ單ニ船舶バカリデナク、鐵道ノ方デモサウデアリマス、之ニ對シテハ相當海運界ニ於キマシテハ考ヘテ居リマスルガ、矢張り是ノ相手方デアル荷主ト申シマスカ、商賣人ト申シマスカ、サウ云フ方面ニ於テモ相協力シテヤラナケレバナライノデアリマス、之ニ對シテハドウシテモ商工省ノ御力ヲ借りナケレバナラスト思フノデアリマスルガ、是モ全部ノ貨物

トハ申シマセヌノデ、石炭トカ鑛石トカ或ハ其ノ他重要ナル貨物ニ限ツテ、順位ノ決定ガ果シテ商工省カラ御覽ニナリマシテ出來ルモノデアルカ、如何カ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シテ見タイト思フノデアリマス

○國務大臣(八田嘉明君) 誠ニ御尤ナ御質問デアリマシテ、商工省ノ關スル限リニ於キマシテハ只今御話ノ一般物價ノ對策ヲ考慮致シマスル際ニ於テ當然此ノ輸送ト云フ問題ガ入ッテ來ルト思フノデアリマス、其ノ基礎的考究ニ付キマシテハ委員會ニ於テ此ノ點ニモ觸レルコトニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ基礎的ノ問題ガ或程度形ガ出來マスレバ、關係方面、即チ此ノ鐵道ノ方面デアリマスレバ、鐵道ノ方面、又船舶ノ方面デアリマスレバ、船舶ノ方面へ自然御協力ヲ願ヒマシテ、其ノ持場々々此ノ點ヲ考ヘテ戴クコトニ相成ルノデハナイカト思フノデアリマス、只今モ御話ガアリマシタガ、此ノ重要物資、殊ニ此ノ嵩商品ニ對シマシテ輸送ノ順位ヲ定メマスコトハ、輸送能力ノ増進ノ上ニ於テ、又應急ノ對策ト致シマシテ、是非ヤラネバナラヌ問題ダト思フノデアリマス、承ル所ニ依リマスレバ、鐵道省ニ於テモサウ云フ風ノコトヲ目下研究サレテ居ルヤウニ伺ッテ居ルノデアリマ

ス、從ヒマシテ只今ノ船舶、船腹ノコトニ付キマシテモ當然左様ナ事ニ相成ラナケレバナラナイト考ヘマスノデ、商工省ト致シマシテモ此ノ點ニ心ヲ置キマシテ、十分協力致シタイト存ジテ居リマス

○村田省藏君 今後此ノ物價ヲ調整サレマスルノニドウ云フ方法ニ依リマスカ、私自身ノ考デハドウシテモ配給統制迄行カナケレバナラスノデヤナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、物ノ配給統制ト相呼應シテ、矢張り船腹ノ配給統制デアリマス、之ニ對シマシテハ今鐵道省ノコトヲ御話ニナリマシタガ、鐵道省デモサウ御考ニナルサウデアリマスルガ、海運業者トシテモ相當ソレハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、私ノ御尋ネ致シマシタノハ荷主ノ方デアリマス、商工省ノ御管理ニナル荷主ノ方デ此ノ輸入ノ順位ヲ商工省ガ御命ジニナル御考デアリマスカ否ヤ、此ノ點デゴザイマス

○國務大臣(八田嘉明君) 此ノ點ハチヨット相當ムツカシイ問題ガアルト思ヒマスノデ、私此處デ直チニ御答ハ出來マセヌガ、御趣旨ノ程ヲ能ク拜承致シマシテ、出來ルダケ其ノ點ニ付テ輸送業者ト、荷主トカ云フ方ノ關係ニ付キマシテ、只今ノ趣旨カラ十分考究ヲ致シテ、善處致シタイト存ジマ

○村田省藏君 商工大臣ニ對スル御質問ハ是デ終リマス

○橋本辰二郎君 チョット時間ガアリマセヌデ、簡單ニ伺ヒマスガ、保險ハ商工省ノ所管デスガ、聞ク所ニ依レバ、衆議院ニ於テモ日本ノ船舶ノ保險料ガ非常ニ高イトカ、其ノ他保險會社ガ暴利ヲ壟斷スルト云フヤウナ議論ガアツタヤウニ聞イテ居リマスガ、日本ノ船舶ヤ海上保險會社ハ大抵其ノ大部分ノ再保ヲ「ロンドン」ニ出サヤウニ聞イテ居リマスガ、恐ラク此ノ保險料ノ高イト云フノハ、「ロンドン」ニ於ケル所ノ再保ノ料金ガ高イト、又「ロンドン」ニ於ケル保險業者カラ其ノ保險ノ料率ヲ左右セラレテ居ル結果デハナイカト私ハ思ヒマス、或ハ其ノ反對ガアルカモ知レマセヌガ、處ガ今日外貨ヲ買ヒマス、詰リ金ヲ外國ニ支拂フモノヲ之ヲ「セーヴ」スル爲ニ外國ノ再保ヲ附ケルモノモ、内地デヤッタナラバ、非常ニ宜イノデヤナイカト思ヒマスガ、是モ一ツノ非常ニ大キナ基礎デ大キナ資本ヲ要スルノデアリマスカラ、國デヤラナケレバ、到底不可能ダト思フノデアリマス、デ、歐洲戰亂中ニ再保險ヲ國デヤッタ例モアリマスルガ、今度海運國策ヲ樹立致シマシテ、本邦

ノ海運ノ擴充ヲ圖リ、此ノ船舶ヲ世界各國ニ進出セシムルト云フ大計畫ノ下ニ於キマシテハ、第一保險料ガ重大ナル矢張り經費ヲ負擔スルコトニナリマスノデ、此ノ點カラ見マシテモ、再保ヲ國家ニ於テ引受ケル所ノ制度ヲ設ケルト云フコトガ最モ適當ナル策デハナカラウカト思ヒマスガ、之ニ對シテ商工大臣ハドンナ御考ヲ持ッテオイデニナリマスカ

○國務大臣(八田嘉明君) 一般ニ此ノ保險料ノ問題ニ付キマシテハ、ソレノ適正ヲ期スル爲ニ、商工省ニ於テモ保險當局ニ於テ研究致シテ居ルノデアリマス、只今御尋ノ所謂再保險ト云フ問題ニ付キマシテハ、御話ノ如ク一方ニ於キマシテハ危險ノ負擔ヲ分散スルト云フ意味ニ於キマシテ考ヘテ置カナケレバナラスコトデアリマスルガ、又一方ニ於キマシテハ貿易外ノ收支、國際收支ノ關係カラ申シマシテ、今日相當重要ナ問題デアアルノデアリマシテ、私ノ承知シテ居ル所デハ各關係業者ニ於カレマシテ、所謂國內ニ於キマシテ「プール」ヲ作リマシテ、適當ナル措置ヲ出來ルダケ講ズルヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、詳細ノコトハ政府委員ヨリ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○橋本辰二郎君 詳細ノコトニ互リマシテハ政府委員ノ御答辯ヲ結構デアリマスガ、大臣ニ於キマシテハ此ノ再保ヲ國營デヤルト云フヤウナ御考ハ御持チニナッテ居ラレマセウカ

○國務大臣(八田嘉明君) 只今サウ云フ考ヲ持ッテ居ラスノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ考慮ハ致シテ居ルノデアリマス、後程其ノ點ニ付キマシテモ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 是ハ大臣ニ御尋ネシテ宜イカドウカ分リマセヌガ、商工省ニ於テ物價ノ標準ヲ御定メニナッテ居リマスガ、鋼材若シクハ非鐵金屬ニ付キマシテモ、矢張り一定ノ標準價格ヲ定メテ居ラレルノデアリマスカ

○政府委員(小金義照君) 非鐵金屬ノ中主ナルモノハ銅デアリマス、銅ニ付キマシテハ、日本銅統制協議會ヲ建値ヲ拵ヘテ居リマス、毎月多少ノ動キハアリマスルガ、大體「トン」當リ千百圓ヲ最高値段トシテ只今ノ所ソレ以下定メテ居リマス、其ノ外ノ非鐵金屬ト申シマス、非常ニ範圍ガ廣クナリマスガ、鉛、亞鉛、錫ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、其ノ建値ト云フヤウナモノヲ商工省ガ監督出來ルヤウナ仕組ニ

ナッテ居リマスガ、是ハ公定ハ致シテ居リマセヌ、併シ政府ガ監督スルト云フ意味ニ於テ從來ノ自由經濟主義ノ下ニ於ケル相場トハ違フコトト存ジマス、唯何ガシカノ數量ノ拔荷、洩レタモノト云フヤウナモノガ所謂闇相場ト云フヤウナモノデ取引サレテ居ルヤウナ實情ガ多少アルヤウデアリマスガ、其ノ多少ハ相當大キク響イテ居ルヤニ拜承致シテ居ルノデアリマスガ、非鐵金屬ノ全般ニ付キマシテハ、今後更ニ建値、及ビ之ヲ嚴守シテ貫フ方法ニ付テ更ニ檢討シテ見ル必要ガアルト存ジマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) チョット伺ヒマスガ、大臣ハ二時カラ本會議ニ御出デニナルサウデスガ、大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌカ

○村田省藏君 是ハ昨日本會議デ下村議員カラ質問ガゴザイマシタガ、何カ内外行政ノ統一デアリマスガ、是ハ申ス必要モナイノデスガ、今回政府カラ組合法案ヲ御出シニナリマシタガ、是ガ外地ニ強制力ヲ持ッテ居ラス爲ニ、如何ニ鞏固ニシテ規律アル組合機構ヲ整備スルト云フ御考ガアリマシテモ、此ノ儘デハ其ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデハナイカト思フ、從ッテ外地ノ方ハ之ニ呼應シテ此ノ組合ノ精神ニ則ツタ

何カ方法ヲ御取リニナルヤ否ヤ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 一應私ヨリ御答ヘ申上ゲマスガ、總テ此ノ海軍行政ノ統一ト云フコトハ多年ノ問題ニナッテ居リマシテ、政府當局ニ於テモ考ヘ、又外地ニ於テモ考ヘテ居ルコトデアリマスルガ、是ハ申上ゲル迄モナク此ノ海軍行政バカリデナシニ、色々ノ一般ノ交通問題、或ハ其ノ他ニ付キマシテモ、内外地無論不可分ノ關係デ緊密ナル連絡ヲ取ツテ行カナレバナラヌノデアリマスガ、之ヲ總テ一元化スルト云フコトハ、總督政治ノ所謂一ツノ統治ノ下ニ特殊性ヲ以チマシテ政府ノ行政ガ綜合的ニナッテ居リマスル關係上、其ノ一部ヲ切り離シテ全ク名實共ニ一元化スルト云フコトガ、相當長イ間研究サレテ居リマスガ、而モ今日迄實現致シテ居リマセヌガ、此ノ點ニ付キマシテハ尙十分考慮ヲ致サナケレバナラヌ點ガ多アルト思ヒマス、併シナガラ少クトモ此ノ法規ニ於テハ、苟モ此ノ海軍行政ニ付テ申上ゲマスレバ、内地ニ於ケル所ノ一ツノ法規ハ直チニ外地ニ於テ同様ノ法規ヲ整備致シマシテ、全ク其ノ點ガ實質上一元化サレタヤウニ致スコトハ勿論デアリマス、ソレカラモウ一ツハ、是ハ法規以外

ノ實際ノ運用ニ於キマシテモ、内外ノ關係方面ガ之ニ協力致シマシテ、事實ニ於テ不都合ノナイヤウニスルト云フコトハ、何ヲ措キマシテモ必要ナコトト考ヘテ、サウ云フ精神及ビ原則ノ下ニ今日ヤッテ居ル次第デアリマス、尙其ノ他ノ點ハ……

○橋本辰二郎君 チョット今ノコトニ關聯シテ御伺ヒ致シマス、只今ノ御答辯ハ單ニ朝鮮トカ、臺灣トカ、樺太等ニ限ルノデアリマスガ、關東州等モ含ンデノ御答辯デセウカ

○國務大臣(八田嘉明君) 只今御答ヘ申上ゲマシタノハ、關東州ハ拓務省以外ノ關係デアル爲ニ、私ノ答辯ノ中ニハ含ンデ居ラヌノデアリマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) 他ニ拓務大臣ニ對シテノ御質疑ハゴザイマセヌカ、ソレカラ尙陸軍大臣ハ四時迄已ムヲ得ナイ御用事ノ爲ニ御出席ガ出來ナイサウデアリマス、只今ハ町尻軍務局長、ソレカラ對滿事務局事務官ノ竹内君ガ御出デニナッテ居リマス、ソレデアリマスカラ、此ノ關係ニ對シテノ御質問ハ四時カラ先ニナサイマスガ、ソレトモ軍務局長ニ殘ッテ戴イテ、御質問ナサイマスガ……ソレデハ其ノ事後ニ致シマス

○政府委員(植場鐵三君) 只今村田サンカ

ラ拓務大臣ニ御質問ノゴザイマシタ點デ、
尙此ノ組合關係ノ細カナ點ヲ私カラ補足致
シテ置キマス、御話ノ通り本法ハ外地ニハ
及バナインデアリマスガ、同法ノ第三條ニ
依リマシテ政府ノ認可ヲ受ケタ場合ニハ、
外地ニ住所又ハ本店等ヲ有スル海運業者ヲ
内地ノ海運組合ニ加入セシムル途ヲ開イテ
居ルノデアリマス、併シナガラ尙朝鮮ニ於
キマシテハ現在ノ海運業ノ情勢カラ考ヘマ
シテ、内地同様海運業者ノ組合組織ヲ必要
トスルト云フ風ニモ考ヘテ居リマスノデ、
是ハ朝鮮ノ特殊事情ハ加味致シマススケレド
モ、大體本法ニ準ジテ制令ヲ以テ立法シタ
イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカ
ラ朝鮮以外ノ外地ニ付キマシテハ現在差當
リハ海運組合ノ制度ヲ餘リ必要ト認メテ居
ナイノデアリマスルガ、將來之ガ必要ヲ生
ジマシタ場合ニ於キマシテハ、勅令ヲ以テ
本法ヲ施行シテ、大體内地ニ準ジテ行キタ
イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、御了承
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) 拓務省ニ對シ
テノ御質問ハゴザイマセヌカ……ゴザイマ
セヌケレバ、先程申上ゲタヤウニ、町尻軍
務局長ト對滿事務局ノ竹内君ガ御出デニナッ
テ居リマス、尙朝鮮ノ政務總監モ來テオイ
デニナリマス、ソレカラ文部省ノ專門學務
局長、ソレカラ逓信省政務次官、管船局長
ガ今御出席中デアリマスカラ、其ノ御積リ
デ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ
モウ一ツ、鑛山局長ガ御出デニナリマスガ、
鑛山局長ヘノ御質問ハモウ宜シウゴザイマ
セウカ
○橋本辰二郎君 ソレデハチヨット御伺ヒ
致シマス、併シ外ノ方ノ都合デドテラデモ
宜シウゴザイマス、村田サンノ方ガ御急ギ
デアリマスレバ……
○委員長(伯爵後藤一藏君) ソレデハ拓務
省ノコトニ關聯シテ朝鮮總督府ノ政務總監
ヘノ御質問ハゴザイマセヌケレバ……ソ
レデハ其ノ次ニ陸軍ノ軍務局長ト對滿事務
局ノ事務官ガ來テ居ラレマスガ、對滿事務
局關係ノ御質問ハ、四時ニ對滿事務局總裁
ガ來ラレルノデ、後ニ質問ヲ留保サレル御
考デスカ、ドウデゴザイマス
○子爵秋元春朝君 ドツチラ先ニナサレル
ノデスカ、軍務局長ノ方ガ先デスカ、對滿
事務局ノ方ガ先デスカ、私ハ軍務局長ガ御
出ノ時伺ヒタイコトガアリマスガ……

○委員長(伯爵後藤一藏君) 私ハ陸軍關係
ノ事トシテ御呼びシテ居ル積リデゴザイマ
セヌ、對滿事務局總裁ガ御出デニナリナイ
ノデ、軍務局長ガ御出デニナッテ居ルノデ、其
ノ積リデスカ、軍務局長ニ對スル御質問ガ
アレバ、此ノ際關聯シテ御質問ナサッテモ宜
シイ
○子爵秋元春朝君 私ハ軍務局長トシテ伺
ヒタイコトガアルノデス
○委員長(伯爵後藤一藏君) デハ軍務局長
ニ對シテノ御質問ヲ秋元子爵ニ御許シ致シ
マス
○子爵秋元春朝君 速記ヲ一ツ止メテ戴キ
タイノデスカ、速記ガアリマス、質問ヲ
細ニ至ッテスル譯ニ行キマセヌカラ、一時
速記ヲ中止願ヒタイ
○委員長(伯爵後藤一藏君) 速記ヲ中止シ
テ下サイ
〔速記中止〕
○委員長(伯爵後藤一藏君) 速記ヲ始メテ
○橋本辰二郎君 文部省ノ政府委員ハ商船
學校御關係ノ御方デゴザイマス……ソレ
デハチヨット御尋ネ致シマスガ、船員ノ問題
デゴザイマスガ、元來逓信省ガ造船ヲ獎勵
致シマシテ、船腹ノ増加ヲ圖リマシテ、之
ニ隨伴シテ詰リ船員ノ補給ト云フコトニモ
考慮ヲ拂ハレナケレバナラナカッタ思フ
ノデアリマスガ、其ノ點ニ於キマシテ逓信
省ナリ、文部省ナリニ十分ナル了解聯絡ヲ

缺イタト云フコトヲ特ニ遺憾ニ思フノデ
アリマスルガ、近年船員就中高級船員ノ不
足ト云フコトハ一般ノ船主ガ非常ニ惱マサ
レテ居ル次第デゴザイマス、殊ニ御承知ノ
通りニ物資動員其ノ他ノ計畫ヨリシテ、昭
和十七年迄一千「トン」以上ノ船舶ヲ七百五
十萬「トン」茲ニ整ヘルト云フヤウナ計畫ガ
アリマスガ、ソレニ對シテ果シテ船員ノ補給
上ニ心配ガナイカドウカト云フコトヲ非常
ニ憂慮スルノデアリマス、尤モ文部省ニ於
キマシテモ近來特ニ色々御心配ニナッテ居
ラルルト云フコトハ仄カニ拜承致シテ居リ
マスルガ、今日ニ於テスラ其ノ高級船員ノ
不足ハ約二百名ニ垂ント致シテ居リマス、
又高級船員ト同時ニ無線技師モ少カラズ茲
ニ不足ヲ致シテ居ル、此ノ補充ニハ非常ニ
皆惱サレテ居リマスガ、文部省ニ於キマシ
テモ高級船員ノコトニ付キマシテハ十分御
考ガアラウト思ヒマスガ、即チ當年ノ不足
スル所ノ高級船員ノ二百名ノ補給ニ關スル
應急策、及ビ明年以後ノ船員ノ必要ニ應ズ
ルダケノ對策ニ付キマシテ、御計畫ヲ一ツ
承リタイト思ヒマス
○政府委員(小笠原豐光君) 御答ヘ申上ゲ
マス、高等海員ノ養成ニ付キマシテハ、御
承知ノ通り高等商船學校、中等程度ノ商船

學校ガゴザイマス、ソレ等ノ學校ニ今年生徒ヲ募集致シマシテ、入學セシメタル者ハ大體ニ於テ昭和二十年ニ卒業致シマスヤウナ譯デ、ソレ故ニ當年並ニ明年ニ於ケル高級海員ノ補給ニ對シマシテハ高等商船及ビ商船學校ニ新規ニ生徒ヲ募集致シマシテモ間ニ合ハナイヤウナ關係デゴザイマス、從ツテソレハソレト致シマシテ、別途如何ナル養成方法ヲ講ズルカト云フコトニ關シマシテハ、實ハ昨年來遞信省トモ連絡致シマシテ、或ハ已ニ御承知カトモ存ジマスルガ、神戸高等商船學校ニ別科ヲ設ケマシテ甲種二等運轉士或ハ二等機關士、ソレニ大阪府立高等海員學校ニ補助金ヲ與ヘマシテ、臨時養成部ヲ設ケサセマシテ、乙種一等運轉士、近海二等機關士ト云フヤウナ比較的下級高等海員ノ養成ヲ圖ッテ居ル次第デゴザイマス、是ハ明年度ノ豫算ニモ計上シテゴザイマスノデ、引續キソレヲヤッテ参リマス、其ノ數ハ大體百五十名程度デゴザイマス、現在並ニ明年以後ノ對策ト致シマシテハ、學校ニ於ケル養成ト致シマシテハ左様ナコトデゴザイマシテ、遞信省ト致シマシテモ特色其ノ點ニ於テハ御考モアラウト存ジマスル、尙文部省ト致シマシテモ此ノ十四年度豫算ニ計上サレテ居リマスルノハ、只今申

上ゲタヤウナコトデゴザイマスルガ、更ニ十五年度ノ豫算ニ於テハ十分遞信省ト連絡ヲ取リマシテ、何等カノ對策ヲ講ジタイト、斯ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス
○橋本辰一郎君 只今ヨリ生徒ヲ新タニ募集スル、詰リ募集ヲ増シマシタ處ガ、ソレガ學校ヲ出ルノハ遙カ先、而シテ又之ガ實地ノ練習ヲ經テ初メテ一人前ノ高級船員トナルノデアリマシテ、餘程先デナケレバ只今ノ計畫ノ實現ハムツカシイト思ヒマス、先程申上ゲタヤウニ、本年中二百人ノ不足ヲ生ズルノデアリマスルガ、之ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテノ何カノ御考ハナイカ、例ヘバ今迄學校ヲ出タ者ハ練習船其ノ他ニ乗ツテ二年ノ間實地練習ヲシタノデアルガ、ソレヲ一箇年ニシテ之ニ資格ヲ與ヘル、若シクハ卒業年限ヲ、例ヘバ商船學校ハ何年カ知リマセスガ、假ニ五年トスレバ、之ヲ四年ニ繰上ゲルト云フヤウナ御計畫ハナイノデアリマスカ
○政府委員(小笠原豐光君) 高等商船學校ノ教育ハ座學三年、練習二年半デゴザイマス、中等程度ノ商船學校ハ大體ニ於テ座學三年又ハ四年ノモノモゴザイマス、又極ク少數ハ五年ノモノモゴザイマスガ、練習ハ三年デゴザイマス、其ノ練習ノ一部汽船ニ乗込

ム期間ガゴザイマス、或ハ汽船實習ヲバ繰上ゲテ、實地ニモウ働カセルト云フヤウナコトモ確カニ一ツノ方法ト存ジマスル、唯ソレヲ半箇年繰上ゲルヤ或ハ一箇年繰上ゲルヤ或ハ色々研究スベキ所モアラウト存ジマスガ、應急對策ト致シマシテ本年出來ル限リノ高等海員ノ數量ヲ供給シヨウト致シマスレバ、結局練習期間ヲ短縮シテ、例ヘバ九月ニ實地ニ就役スベキ者ヲ三月ニ繰上ゲル、或ハ一年ニ繰上ゲルト云フコトニ致シマスレバ、明年三月海員界ニ出スベキ者ヲ此ノ三月ニ出スト云フ、斯ウ云フ方法モ考ヘラレルト存ジマス、併シナガラ高等商船學校ノ卒業者ニ付キマシテハソレノ海技免狀ノ關係ガゴザイマスノデ、半年或ハ一年ヲ繰上ゲマシテ、規定ノ海技免狀ヲ交付サレルヤ否ヤト云フコトハ、是亦十分遞信省ト協議致サネバナラスコトト存ジマスルガ、ソレ等ニ付テハ出來ル限り連絡ヲ取リマシテ、何等カノ對策ヲ講ジタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス
○橋本辰一郎君 現在デスラモ海員ノ不足ヲ生ジテ居ルノニ、當年尙五六十萬「トン」ノ新造船ガ出來ルト云フコトニナリマス、愈々海員ハ茲ニ不足ヲ生ジマシテ、折角船ヲ拵ヘテモ動力ナイヤウニナッタラバ、多額ノ

資本ヲ全ク死藏スルノミナラズ、國策ニモ全ク背馳スルコトトナリマス、ソレデ唯人ノ爲ニ船ガ運轉ガ出來ナイヤウナコトハ誠ニ遺憾ノ至リデアリマスガ、是ハ如何ナル、何ト申シマスカ、言葉ガ甚ダ何デスガ、窮策ヲ講ジテモ、當面ノ急ニ應ズルダケノ一ツ措置ヲ執ルト云フコトハ、政府トシテ當然ナサナケレバナラスコトデアラウト私ハ思フノデアリマス、ソレデ高級船員ノ方ニ付キマシテハ主トシテアナタノ方ノ御關係デアリマスガ、何等カサウ云フ制度ノ改正ガ必要デアルトスレバ、制度ノ改正迄モオヤリニナツテ、サウシテ目下ノ急ニ應ズルト云フ策ヲ御執リニナルト云フコトガ最も私ハ必要デアラウト思フシ、又一般日本ノ海運界モソレヲ非常ニ希望シ、又サウ云フ便宜ヲ圖ツテ戴クデアラウト云フコトヲ期待スルデアラウト私ハ思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ能ク一ツ御研究ヲ願フコトニ致シマシテ、ソレカラ今度地方ノ商船學校ヲ移管セラレマシタノデスガ、ソレニ付キマシテ私ハ豫算ヲ見マシタガ、經常費ハアリマシタガ、臨時費ハナカッタヤウデアリマス、處方何デモ收容人員ヲ餘程増加スルト云フヤウナ御計畫ノヤウニ承ツテ居リマシタガ、收容人員ヲ増加スルトス

レバ、自然臨時費ガソレニ伴ハナケレバナ
ラスト思ヒマスガ、何カ代用校舎デモ御使
用ニナルト云フ御考デスカ、又其ノ心當リ
ガゴザイマスデスカ

○政府委員(小笠原豊光君) 御答へ申上ゲ
マス、創設セラレマスル官立商船學校ハ既
設ノ公立商船學校ノ校地、校舎、設備ヲ利
用スル建前ニナツテ居リマスノデ、而シテ足
ラザル分ハ地元府縣ニ於テ補フト云フコト
ニナツテ居リマシテ、從ツテ國ノ豫算ニハ臨
時費ガ含マレテ居ラナイ次第アリマス、
且其ノ人員ハ増加致シマスガ、ソレニ要シ
マスル改増築モ自然必要ニナツテ參リマシ
テ、ソレモ大體ニ於テ府縣デ致スコトニナツ
テ居リマス、今年ハ差當リ増加スル生徒ノ
數モ左シテ多クハゴザイマセヌノデ、既設
ノ教室等ニ於テ大體ニ於テ間ニ合フヤウナ
考ヲ立テテ居リマス

○橋本辰二郎君 地方ノ商船學校ニシテ文
部省ニ移管セラレタルモノト然ラザルモノ
トアルト云フコトデアリマスガ、ソレハド
ウ云フ次第デアリマス

○政府委員(小笠原豊光君) 地方ノ商船學
校ハ大體八校、尤モ其ノ中ノ一校ハ既ニ廢
止手續ニナツテ居リマスカラ、七校ト見ルコ
トモ出來ルカト存ジテ居リマス、當初ニ於
キマシテハソレ等ヲ綜合致シマシテ、四校
ニスル考モゴザイマシタ、併シナガラ地方
ノ希望等モアリ、又一方刻々ニ變化致シマ
スル所ノ情勢ノ推移ヲ見ネバ相成ラスト云
フ所モアリマシテ、四校ハ官立ニナリマシ
タガ、殘ル三校ハ暫ク現狀ノ儘ニ置イテ存
續スル、斯様ニ相成ツタ次第ゴザイマス

○橋本辰二郎君 何レニ致シマシテモ、此
ノ海員ノ補充ト云フコトハ、非常ニ何ヨ
リモ焦眉ノ重要ナル問題デアリマシテ、此
ノ事ニ付キマシテハ如何ナル難關ヲ突破シ
テデモ、一般海運界ニ迷惑ヲ及サヌヤウニ
御努メニナルコトガ當然ノ責務デアラネバ
ナラスト思ヒマスガ、色々是迄御苦心ニナツ
テ、又色々御計畫ノアルコトハ推察ハ致シ
マスルガ、尙一層ノ之ニ關シマシテノ御努
力ヲ御願ヒ致シマスル次第ゴザイマス

○政府委員(小笠原豊光君) 了承致シマシ
タ
○橋本辰二郎君 之ニ關聯致シマシテ通信
當局ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、海員免
狀ノ交付トカ、又ハ船舶職員法ナドヲ改正
致シマシテ、差當リ非常ニ困ツテ居リマスル
高級船員ノ不足ヲ何トカ切抜ケルト云フコ
トニ付テ御考ハアリマセヌカ

○政府委員(伊勢谷次郎君) 船員ノ不足シ
テ居リマスル狀況ニ付キマシテハ、私共全
ク御話ト同ジャウニ非常ニ憂ヘテ居ルノデ
ゴザイマス、ソレニ付キマシテ只今ノ御尋ハ
海員免狀交付ニ付テノ改正ノ意圖ハナイカ
ト云フ御尋デゴザイマスルガ、ソレニ付キ
マシテ實ハ考究ヲ致シテ居リマスノハ、現
在甲種船長ノ免狀ヲ執ツテ居リマシテ、而
モ船長デナイ外ノ職務ヲ執ツテ居リマスル
者ガ四百六名ゴザイマス、ソレカラ機關長
ノ免狀ヲ持ツテ居リナガラ、機關長ノ職務
ヲ執ツテ居ラナイ者ガ是亦四百三十三名ニ
達シテ居リマス、其ノ他甲種一等運轉士ノ
免狀ヲ持ツテ居ッテ、其ノ職務デナイ外ノ
職務ニ就イテ居リマス……ト申シマスノ
ハ、船ノ中ノ外ノ職務デアリマスガ、ソレ
ガ三百十六名、又一等機關士ノ方モ同様ナ
モノガ三百八十名モアリマス、左様ニ甲種
二等運轉士、二等機關士、三等機關士等ヲ
見テ參リマスルト、實ニ二千九百四十一人
ノ免狀持ガ其ノ免狀ニ相應ハシイ職務ニ就
イテ居ラナイノデアリマス、是ハ現實ニ船
ニハ乗ツテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ乗ッ
テ居ル有様ハ何レモ其ノ免狀ヨリモ下級ノ
職務ヲ執ツテ居ルノデゴザイマス、從ツテ下
級ノ方ノ免狀持ヲ殖シマスルニ於キマシテ
ハ、是等ノ人々ガ其ノ免狀ニ相應ハシイ職

務ヲ執レルヤウニナル、斯ウ云フ理窟ニ
ナツテ參リマス、從ツテ下級ノ方ノ免狀持ヲ
多クスル爲ニ適切ナル手段ヲ講ジタイト考
ヘマシテ、折角考究ヲ致シテ居ル次第デゴ
ザイマス

○橋本辰二郎君 只今御答辯ノ考究中ノコ
トハ、直チニ實現化セラレルト云フ御自信
ガゴザイマスルカ

○政府委員(伊勢谷次郎君) 左様ナ心組ヲ
以テ考慮致シテ居ルノデゴザイマスガ、一
面ニ於キマシテ私共實ハ此ノ海員需給狀態
ニ付キマシテ聊カ懸念ヲ持ツテ調ベテ居リ
マスルノハ、此ノ一月ニ於ケル海員需給ノ
狀態ヲ見マスと云フト、全國ノ海員ノ職業
紹介所ニ於キマシテ、其ノ求職人員ト求人
ノ人員トヲ較ベテ見マスと云フト、高級海
員ニアリマシテハ、求職數ハ十二月カラ持
越ノモノガ五百七十一人、ソレカラ一月中
ノ求職ヲ申込シタ者ガ三百三十八人、ソレ
ニ對シテ人ヲ求メル方ハ前月ノ未済ノモノ
ガ二人、一月中ニ人ヲ欲シイト申込シタ者
ガ二百二十五人デゴザイマシテ、サウシテ其
ノ結果就職ノ成立シタモノガ二百三人、餘ッ
テ居ル人員ガ五百六十四人、斯ウ云フコト
ニナツテ居リマス、ソレカラ又普通船員ノ方
ハト申シマスと云フト、求職ノ方ガ十二月

カラ就職ヲ希望シテ持越シテ來テ居ルモノ
ガ千四百四十七人、一月中ニ求職ノ申込ガ
四千二百六人、而シテ人ヲ求メル方ハ前月
カラ申込シテ居ルモノガ三人、一月ニ人ヲ
欲シイト申込シテ居ルモノガ三千七百九十六人
デゴザイマシテ、其ノ中デ成立致シマシタ
モノガ三千五百二十一人、アト二月ニ人ガ
餘ッテ持越シテ居ルモノガ千六百三十八人、
斯様ナ狀況デアリマス、ソコデ此ノ中ニハ
色々ノ人モアリマシテ、無論船主ノ方デ左
様ナル者ノ採用ハ好マナイト云フ風ナ事情
モアルカトモ思フノデアリマスルガ、今之
ヲ昭和十三年十二月末ニ於ケル高級船員ノ
中デ甲種船長、甲種一等運轉士、甲種二等
運轉士、ソレカラ機關長、一等機關士、二
等機關士ト云フ風ナ者ノ實際ノ實情ニ付テ
見マスルト云フト、海員免狀ヲ持ッテ居リマ
ス登録者ノ總數ハ、甲種船長、甲種一等運
轉士、甲種二等運轉士ニアリマシテハ、合
計一萬五千三百三十二人デアリマス、其ノ中免
狀ヲ二ツ併有シテ居ル者ガ二百六十九人ア
リマシテ、差引登録者ト致シマシテハ、一
萬二千六百十三人、其ノ中死亡者デアッテ登録
抹消ヲ致シテ居リマセヌ者ガ千二十七人、
六十歳以上ノ者ガ九百七十五人デ、差引ハ
千二百六十一名ガ乗船可能者デアリマス、

其ノ中デ實際ニ船ニ乗ッテ居リマス者ハ四
千七百五十九人デアリマシテ、結局三千
五百二人ト云フモノガ下船中ノ者デゴザ
イマス、同様ニ數ヘテ行ッテ見マスルト、
機關ノ方デハ、乗船可能者數ガ八千九百
四十三人ノ中、實際乗船致シテ居リマス者
ガ五千五百四十二名デアリマシテ、下船
中ノ者ガ三千四百一名ト、斯様ナ狀態ニナッ
テ居ルノデアリマスルガ、併シナガラ是ハ
尙其ノ當人ニ付キマシテ十分ニ調査ヲ致サ
ナケレバナリマセヌノデ、御承知ノ登録制
度ニ依リマシテ、此ノ四月一日ヲ期シマシ
テ登録ヲシ、實地ニ付キマシテ検査ヲモ行
ヒ得ルコトニナッテ居リマスルカラ、検査ヲ
致ス積リデアリマスルガ、斯様ナル需給狀
態ヲ見マシテ、先程申上ゲマシタヤウナコ
トニ付キマシテモ、其ノ事態ニ應ジテ適切
ナ手段ヲ執リタイト考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○橋本辰二郎君 御説明ノ通リトスレバ、
何等心配ハナイヤウデアリマスルガ、實際
ト只今ノアナタノ御説明トハ非常ナ差ガア
ルデハナカラウカト思ヒマス、今日例ヘバ
一等機關士ナリ、又ハ船長ナリ、一人缺員
ヲ生ジマシテモ、其ノ補充ニ付キマシテ全國
中見附ケテモ之ヲ得ラレスト云フ實例ガ多
イノデアリマス、ソレガ爲ニ空シク港ニ繫
船ヲシナケレバナラヌト云フ例モ多々アル
ノデアリマシテ、ドウモドウ云フ點デ斯ウ
云フ統計ガ出テ來タカト云フコトヲ私等ハ
疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、尤モ大會社
ニナリマススト云フト、相當豫備員ナドヲ置
イテ居リマス、又海員免狀ヲ持ッテ居ル者
デ、本社ノ陸上ノ事務ニ從事シテ居ル人モ
大分アラウト思ヒマスケレドモ、事實今日
必要ニ應ジテ雇ハウト云ツテモ、殆ド之ニ應
ズル者ハナイト云フノガ今日ノ實情デアリ
マシテ、モウ少シ能ク御調ニナリマシテ、
是ダケノ者ガアルカラ、今後船ハ殖エテモ
安心ダト云フヤウナ御考ヲ御持チニナラズ
ニ、實地ニ付テ能ク御調ニナリ、又現ニ先
程御話ニナリマシタヤウニ、一人々々ニ付
テドウ云フ生活狀態ヲシテ居ルカ、ドウ云
フ健康狀態デアルカト云フヤウナコトモ御
調査ニナリマシテ、今後續々竣工スル所ノ
新シイ船ノ運行ニ支障ナカラシムルヤウニ、
特別ニ一ツ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、
ソレカラ此ノ普通船員モ只今デハ非常ニ軍
需工業其ノ他ノ關係デ少クナリマシテ、或
所デハモウ大變差支ヲ生ジテ居リマスル
ガ、是ハ便宜ノ手段トシテ或一定ノ年限ヲ
限ッテデモ、内地沿岸ノ船舶ニ對シテ支那人

デモ使用サセルト云フヤウナコトヲオ許ニ
ナルト云フ御意嚮ハアリマセヌカ
○委員長(伯爵後藤一藏君) チョット失禮
デスガ、橋本君、文部省ノ方ハ御用ゴザイ
マセヌカ
○橋本辰二郎君 私ハ要リマセヌ、宜シウ
ゴザイマス
○政府委員(伊勢谷次郎君) 高級船員ノ需
給ニ付キマシテ御注意ヲ承リマシタ點ハ駭
ト拜承致シマシタ、御注意ノ點ハ十分留意
致ス積リデゴザイマス、次ニ普通船員ノ方
ニ付テデアリマスルガ、此ノ普通船員ニ對
スル供給ト致シマシテ、支那人船員ヲ使フ
積リデアアルカドウカト云フ御話デゴザイマ
スルガ、其ノ積リハ目下ノ所持ッテ居ナイ
ノデゴザイマス、是ハ餘程慎重ニ考究ノ上
デナケレバ、決定シ難イ事情ニアルモノト
實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス
○委員長(伯爵後藤一藏君) ソレデハ遞信
省ノ方ニ對スル質問ハ成ルダケ後ニ廻シテ
戴キマシテ、對滿事務局事務員ガ來テオイ
デニナリマスルカラ、其ノ方ヘノ御質問ヲ
先ニ願ヒタイト思ヒマス
○村田省藏君 一應御質問申上ゲテ置キマ
スガ、相當大キナ問題デスカラ、對滿事務
局總裁ノ御返事ヲ承リタイトモアルト思フ

ノデアリマス、ソレハ内外地海運行政ヲ統一スルコト云フコトハ、是ハモウ論ノ無イコトデアリマス、唯内外地ノ海運行政ヲ統一シマシテモ、此ノ滿洲ト云フモノヲ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノ事ニ關シテハ既ニ日本ノ政府ト滿洲國政府ト海運政策ニ對シテノ或了解ガアルヤニ承知ハ致シテ居リマスガ、此ノ點ニ對シテ對滿事務局長ノ一層御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、今日世界デ滿洲國ヲ承認スルト云フ國ハ少イノデアリマスガ、段々承認サレマスル曉ニ於キマシテハ、滿洲國旗ノ下ニ船舶ガ海外ニ出ルト云フコトモアルノデアリマス、併シ滿洲國ニ對シテハ矢張り適地適業ト云フ點カラ、對外關係ノ海運ハ矢張り我ガ日本デ引受ケルト云フコトニシナケレバ、他日非常ナ禍ヲ生ズル場合ガアルノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、私ハ興亞院總裁ニモ支那ニ對スル海運政策ヲ御決メテ願ヒタイト云フコトヲ此ノ間申上ゲテアル程デアリマシテ、況ヤ滿洲ニ對スル海運政策、滿洲ト海運政策ニ對シテノ十分ナル打合セヲ私ハ必要ト思フノデアリマス、此ノ點ニ關シテ總裁ノ御方針ヲ御伺ヒシタイト思フノデス、何故サウ云フ問題ガ出來ルカ、兩國ノ間ニサウ云フモノガア

ルト云フコトヲ承知シツ、斯ウ云フ問題ヲ出シマスル其ノ理由ハ、此ノ對支海運會社デアリマス、揚子江及ビ支那沿岸ヲ土臺トシテ出來マスル今御審議ニナツテ居リマスル此ノ對支海運會社、此ノ會社ニ對シテ、聞ク所ニ依リマス、大連汽船ガ入ラナイ、此ノ對支海運會社ト云フモノガ國策上必要デアルカラ、サウ云フモノガ出來ルノデアリマシテ、國策ノ上カラ、國策ノ必要カラ出來ル會社ニ、大連汽船、而モ關東州ニ置籍シテ居ル大連汽船ガ入ラナクテ、現ニ今日其ノ對支海運會社ガ中心ナルノデ、日清汽船ノ航路ト、大連汽船ノ支那沿岸ノ航路ト競争ヲシテ居ルト云フヤウナ有様デアリマス、是ハ如何ニモ心外ナ話デハナイカ、東洋新秩序ノ建設ト云フコトヲ言ヒナガラ、自分ノ足下ニサウ云フコトガアルト云フコトハ心外デアアルノデアリマス、何ガ故ニ此ノ大連汽船ヲ國策ヲ標榜シテ居ル所ノ新會社ニ御出シニナリマセヌカ、唯一方ニ於テハ日本海汽船ヲ創立スルニ當リマシテ、是亦國策ノ名ノ下ニ日本海汽船ト云フモノガ、創立サレルノデアリマスガ、ソレニ對シテ何等航路ヲ持タナイ滿洲國ガ無理ニ割込シテ來ル、一方ニ於テ現實ニ航路ヲ持ッテ居ルノニ、其ノ航路ヲ與ヘナイデ、從來何等航

路ヲ持タナイモノガ無理ニ割込シテ來ル、而モ今日ハ金ハ直チニ船ニナラスノデアリマス、直チニ船ニナラナイデアリマス、日本海ノ橫斷船ニ不適當ナ船ヲ出シテ、其ノ代リニ金ヲ附ケテ無理ニ其ノ會社ガ新シイ會社ニ割込シテ來ル、而モソレヲ半分出スト云フノハ、不思議ナ現象ト私ハ思フノデアリマシテ、此ノ點ニ關シテドウ云フ御方針ヲ持ッテ居ラル、カ、一應御伺ヲシタイト思フノデアリマス、衆議院ノ速記録ナンカヲ見マス、滿洲ニ於テハ海運會社ヲ起ス意思ハナイ、マダ起スヤウナコトヲヤッテ居ラスト云フコトノ御答ガ、ドナタカアッタヤウニ思ヒマスガ、現ニサウ云フ事實ガアルノデアリマス、ソレハ現實ニハナリマセヌガ、滿洲ハ大豆ヲ「ヨーロッパ」ニ輸出スル爲ニ、滿洲ニ於テ汽船會社ヲ造ルト云フ計畫ガアッタノデアリマス、ソレカラ關東軍ヲ代表サレル或軍人ノ方ト私ハ直接ニ御會ヒシマシタ時ニ、滿洲國ガ汽船會社、海運會社ヲ持ッテハ何デ惡イカ、滿洲國ハ五族協和ノ國デアアル、有ラユルモノヲ持ッテ差支ナイノデアルト云フコトヲ言ハレタヤウナコトガアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘマス、折角又今問題ニナツテ居ル内外地ノ海運政策統一ガ出來マシテモ、

更ニ又關東州ナリ、滿洲ニ於テ、再ビ海運政策ガ打壞サレル、統一ガ出來ナイト云フヤウナコトニナル虞ガアルノデハナイカ、是ハ單ニ一海運會社ノ問題デハナイノデアリマシテ、是ハ大キナ日本ノ政策ノ問題ダト私ハ思ヒマス、先ヅ滿洲國ヲ固メ、更ニ支那ノ方モ固メテ、サウシテ日本ノ海運ノ世界的飛躍ヲスルト云フコトガ最モ必要デアルト私ハ思フノデアリマス、サウ云フヤウナ現象ガ現レテ居リマスル限り、非常ニ私ハ憂慮スルノデアリマス、此ノ點ヲ一應詳細ニ御耳ニ入レテ、サウシテ御答ヲ願ヘマスレバ、大變結構ト思ヒマス

○政府委員(竹内徳治君) 御尋ノ點ハ、御話ノ如ク對滿事務局長總裁ヨリ、日滿ノ海運計畫ノ根本ニ關スル問題デゴザイマスノデ、御答スルノガ至當ト存ジマス、只今ノ御話ヲ私ヨリ傳ヘマシタ上、後刻コチラニ參リマシタ際、總裁ヨリ御答辯申上ゲルヤウニ致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) ソレデハ他ニ御質疑ガナケレバ、其處ニ保險院ノ長官ガ來テオイデニナリマスカラ、保險院ノ長官ニ御質疑ガアリマシタラ、ドウゾ御願ヒシタイ、次ニ商工省ノ火災保險ノコトニ付テ橋本サン御質疑ガゴザイマスカ……ソレデ

ヤ商工省ノ鑛山局長ガ來テ居リマスカラ、後ニ願ヒマス

○樺本辰二郎君 チョット鑛山局長ニ御尋
ネスルノハ、簡單デスカラ、宜シウゴザイ
マスカ、委員長

○委員長(伯爵後藤一藏君) 橋本君

○樺本辰二郎君 先程銅ノ値段ハ「トン」
千百圓ト云フコトデアリマスガ、サウ云フ値
段デ矢張り造船會社等ニ供給セラレテ居ル
ノデアリマセウカ、實ハ船舶ノ建造費モ二
倍以上ニ騰貴致シテ居リマスガ、修繕費ニ
至ッテハ約四倍ノ騰貴ヲ致シテ居ル、造船會
社ト云フモノハ、單價計算ト致シマシテ銅
ガ幾ラ、鐵ガ幾ラ、錫ガ幾ラト云フヤウナ
モノヲ示シマス、ソレハ非常ニ高い値段デ
アリマスノデスガ、果シテ商工省ニ於テ御
定メニナッテ居ル價格デ造船會社ニ供給シテ
居ルモノトスレバ、造船會社ガ不當ナル暴
利ヲ食ツタト云フコトニナリマスガ、ソレニ
付キマシテ何カ消息ヲ御承知デアラウト思
ヒマスガ、御説明ヲ願ヒタイ

方面トカ、其ノ他ノ方面ヘ三千圓スルトカ、二
千五百圓スルト云フヤウナコトガ、昨年ノ
今頃ハ事實問題トシテ相當アツタヤウニ承
知シテ居リマス、尙銅屑、再製銅ト云フヤ
ウナモノガ統制ノ範圍カラ抜ケテ、相當高
値ヲ呼ンデ居ル、殆ド常識デ考ヘラレル範
圍ヲ逸脱シテ居ツタト云フ事實モ 昨年ノ前
半期ニハ確カニアツタヤウニ承知シテ居リ
マス、ソレ等ノ銅ガ今日迄多少加工セラレ
テ販賣サレルヤウナモノニ付イテハ、マダ
値ガ高イト云フ御話ヲ承テ居リマス、今御
尋ノ點ハ恐ラク建値ノ千百圓ニ比シテ或ハ
千百圓ヨリ多少下値廻デ賣ツテ居リマスガ、
其ノ値段ニ對シテ、餘リニ銅線、銅板其ノ他
ノモノガ高いデハナイカト云フ御不審ダラ
ウト思ヒマスガ、是ハ私共非常ニ困ッテ居リ
マシテ、製品ノ値段ノ統制ガゴザイマセヌ、
鋼材ニ付テモ同ジデアリマスガ、鋼材ハ標
準丸棒「トン」當リ百七十五圓ニ定メテ居リ
マスガ、之ニ多少ノ加工ヲ致シマシテ、其ノ
加工シタ所謂製品、或ハ第二次的ノ製品ト
呼ンデ居リマスガ、ソレ等ノモノガ非常ニ
高いノデアリマス、是ガ物價政策ノ痛ヲ成
シテ居ルノデヤナイカ、例ヘバ其ノ一番好
イ例ガ工作機械トカ、其ノ他ノ機械ガ殆ド
斯ウ云フ事變ニナル前ニ豫想ダモシナカッ

タ高値ヲ呼ンデ居リマス、其ノ例ニ漏レズ、
銅ノ製品ニ付キマシテモ茲ニ多少加工致シ
マシタモノハ人件費其ノ他ノ加工費ト申シ
マスカ、サウ云フモノデ非常ニ値ガ上ッテ居
ルラシイノデアリマス、此ノ點ハ物價政策
ノ方カラ第二次製品或ハ其ノ他ノ製品ト云
フ形デ値段ノ統制ガ行ハレルヤウニ今折角
御考慮中デアルヤウニ承知致シマス、サウ
云フ關係デ恐ラク私共ガ電氣銅トシテノ建
値デ考ヘテ居ルモノヲ基準ニシテ、何ガシ
カノ製品ヲ御覽ニナルト、馬鹿々々シイヤ
ウナ値ヲ呼ンデ居ルモノガアルノデハナカ
ラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯考ヘ
ルダケデハナシニ、然ラバサウ云フ値段ヲ
統制シテ行カナイ限りハ、低物價政策其ノ
他ノ生産力擴充政策モ極メテ不健全ナルモ
ノニナルダラウト云フ見地カラ、商工省デ
ハ來ルベキ年度ニ何カ相當ノ考ヲ以テ之ニ
臨ムヤウナ風ニ承知致シテ居リマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) ソレデハ保險
院長官ガ來テ居リマスカラ……
○村田省藏君 實ハ此ノ問題ハ船員保險法
案ノ委員會デ御討議ガアツタラウト思フノ
デアリマス、私ハ貴族院ノ方ハマダ聴イテ
居リマセヌガ、衆議院ノ方ノ會議録ヲ見テ
居リマス、無論船主ト致シマシテ、船員ノ
福利増進ト云フコトハ考ヘテ居ル次第デア
リマシテ、御承知ノ通り海事協會ト云フ
モノガ作ラレテ居ル、船主船員兩方ノ代表
者ガ毎月集ッテ、勞働條件ノ改善、福利増進
等ノコトヲヤッテ居リマス、今回船員ニ對シ
テ保險法案ヲ御提出ニナリマシタノデア
リマスガ、其ノ以前ニ厚生省ニ於カレテハ
保險制度調査會ト云フモノヲ作ラレテ、船
主、船員其ノ他朝野ノ學識經驗ノアル方ヲ
委員トシテオ加ヘニナツタノデアリマシテ、
更ニ亦小委員ヲ作り隨分慎重ニ御討議ニナッ
タノデアリマスルガ、ソコデ決メラレタ案
ガ大藏省ノ關係デ大分變ッテ參ツタヤウニ承ッ
テ居リマス、此ノ衆議院ノ方ノ會議録ヲ見
マスト、其ノ變ッタ案ニ船主モ同意ヲ表シタ
ト云フヤウナ、厚生大臣デスカ、保險院長
官ノ御答辯デシタカ、何カ書イデアリマス
ルガ、其ノ點ハ聊カ事實ト違ッテ居リハシナ
イカト思フノデアリマス、船主ト致シマシ
テハ、政府、船主、船員ガ各三分ノ一宛負
擔ヲシテ此ノ船員保險法案ニ同意ヲシタト
云フヤウニナッテ居リマス、又其ノ法案モ
色々採ミマシタ結果、總テノ事情ヲ御承知ノ
保險院長官ト管船局長ニ御委セラシテ、御委
セラシタ結果法案ガ成立ツタヤウニ考ヘテ
居ルノデアリマス、然ルニ其ノ後大藏省ノ

關係デ、政府ノ負擔三分ノ一ガ事實五分ノ一ニナリマシタノデアリマスガ、此ノ點當時私ハ調査會ニ出マシテ、小委員迄勤メタ者ト致シマシテハ甚タ満足シ得ナイノデアリマシテ、色々御理由モアルガラウト思ヒマスガ、併シ此ノ點ハ御答辯ヲ伺ヒマシテモ致シ方アリマセヌ、既ニ別ニ委員會ガ出來マシテ、委員會デ恐ラク通過スルガラウト思ヒマスガ、此處ニ御出デラ願ヒマシタノハ、今回逕信省ノ出サレタ三法案ト共ニ、船員保險法案ハ海運界ニ於ケル劃期的ノ法案デモアリマスルシ、非常ニ重要ナル法案ト思ヒマスノデ、無論是ハ通過ニハ私不贊成デゴザイマセヌガ、當テ其ノ際御願ヒ致シマシヤウニ、此ノ法案ガ法律トナッタ爲ニ、船主ノ負擔ヲ過重シナイヤウニ、船主ガ二重ニ負擔ヲシナイヤウニト云フコトヲ一應一ツ御言明ラ願ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ御答ヲ願ヒタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

ハ、是ハ一應ハ只今仰シヤッタヤウニ國庫ノ財政ノ關係モアリ、又一面當時御承知ノヤウニ、民間ノ方面デモ船員保險ノ年金ニ付テ三分ノ一ノ補助ハ多過ギルト云フヤウナ意見モアリマシテ、ソレ等モ相當反映シタモノト思ヒマスガ、兎ニ角ソレ等ノ色々ノ點カラ三分ノ一ヲ五分ノ一ニ減ラシマシタ、此ノ點ハ私共當局ト致シマシテ、又保險制度調査會ニ御盡力下サッタ方々ニ對シマシテハ誠ニ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス、唯減リマシタ爲ニ、善後ノ方法ニ付キマシテハ色々苦慮致シタノデアリマス、此ノ點ヲ實ハ親シク申上ゲテ御了解ヲ得タイシ、又御質問ニモ御答ヲ致シタイト思ヒマス、此ノ金額ガ減リマシタ結果、如何致サウカト云フコトニ付キマシテハ二種方法ヲ考ヘタノデアリマス、一ツハ保險ノ給付ノ内容ヲ原案ノ儘ニスルナラバ、政府ノ負擔金ガ減ッタ所ハ船主船員ノ保險料ヲ増シテ補填スルト云フ外ハナイノデアリマス、是ガ一ツノ方法、今一ツハ船主船員ノ負擔ヲ増スコトガ海運ノ狀況ナリカラ見テ適當デナイ、困難デアルト云フコトニナリマスルナラバ、船主船員ノ負擔ヲ増サズシテ、唯政府ノ補助金ガ減ッタ額ハ、給付ノ内容ヲ何處カデ端のニ申セバ悪クスル、此ノ

二ツノ方法ヲ考ヘル、其ノ點ニ付キマシテハ私共ノ方デモ案ヲ考ヘマシタガ、同時ニ是ハ船主船員兩方ノ御意見ヲ十分伺ッタ上デ、一致シタ所デ決メタイト考ヘマシテ、當時非常ニ早急デゴザイマシタケレドモ、船主船員ノ方々ニ御集リヲ願ッタノデアリマス、サウシテ其ノ結果負擔ヲ増スコトハ適當デアルマイト云フコトニナリマシタノデ、政府ノ補助金ノ減ッタ點ハ給付ノ内容ヲ加減シタノデアリマス、其ノ給付ノ内容ヲ加減致シマスルニ付キマシテノ方法ニ付テモ亦色々考ヘタノデアリマスガ、此ノ船員保險ノ主眼トスル骨子ハ年金制度ナノデアリマス、年金ニ付キマシテハ、是ハ最小限度ノ額デアリ、且最小限度ノ給付デアリマスカラ、之ヲ悪クスルコトハ出來ナイノデアリマシテ、ソコデソレ等ノ點ニ付テハ手ヲ著ケマセヌデ、唯年金ノ支給期間ノ來ナイ、詰リ船員生活十五年デ年金ヲ附ケルノデアリマスガ、其ノ十五年未滿デ罷メル者ニ付テハ年金ヲヤラナイ代リ、脱退手當ト申シテ一時恩給ト云フヤウナモノヲヤルノデアリマス、之ヲ約二割カ二割五分方減スト云フコトノミデ、政府ノ補助ガ減ッタ額ハ丁年「カバ」出來ルノデアリマス、此ノ一時金ニ付キマシテハ實ハ原案ニ付キマシテ

船主ノ方ノ側カラ一時金ハ多少多過ギルノデハナイカ、斯ウ云フ御意見ガアッタ、一時金ガ多少多イト云フコトニナリマス、十五年未滿デ罷メル者ガ出來ルト云フ憂ガアル、折角ノ年金ガ、年金制度ニ依ッテ永ク勤續サセヨウト云フ趣旨ニ副ハナイコトニナルノデアリマシテ、サウ云フ點カラ申シマシテモ、一時金ハ多少減ス方ガ宜クハナイカト云フ意見モアッタノデアリマス、丁度サウ云フ意見モアリ、政府ノ負擔モ減リマシタノデスカラ、一時金ノ方ヲ減シテ、而モソレモ大シク減リ方デナクシテ、大體算盤ガ採レルコトニ相成ッタノデアリマス、ソコデ今回ノ案ノ如クニ、政府負擔五分ノ一デモ、大體此ノ船員保險ハ大シタ原案ノ骨子ヲ破壊スルコトナクシテヤレルト云フ見込ガ附キマシタカラ、大藏省ノ意見ニモ同意致シタヤウナ次第デアリマス、實ハ其ノ當時船員、船主側ニ御出デラ願ッテ相談シタノデアリマスガ、ソレガ早急デアッタ爲ニ、今日迄或ハ多數ノ船員船主ノ方ニ徹底シナイ怨ガアッタノデハナイカト思ヒマシタ、實ハ政府ノ負擔ガ減ッタコトニ依ッテ、船主ノ保險料ハ上ッテ居ラヌノデアリマス、同額デアル譯デアリマス、ソレダケ此ノ機會ニ申述ベテ置キマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) 他ニハ厚生省ノ保險院長官ニ御質問ゴザイマセスカ

○村田省藏君 チョット管船局長ニ伺ヒタイノデスガ、先程船員ノ問題ガアリマシタガ、一ツ無線電信ノ技師ノ問題デアリマス、是ハ衆議院ノ方デノ御答ハ大分樂觀シテ居ラレルヤウデアリマスガ、是非モ非常ニ困ッテ居ルノデ、アレニ對シテ學校其ノ他ノ増設トカ、或ハ今ノ擴張トカ云フヤウナ御考ハゴザイマスマイカ

○政府委員(伊勢谷次郎君) 御同様サウ樂觀ハ致シテ居リマセヌノデ、無線電信技師ノ養成ヲヤッテ居リマス電信協會、此ノ方ト相談ヲ致シマシテ、協力ヲ得マシテ、養成人員ヲ大イニ増加スルコトニ致シマシタノデアリマス、デアリマスルカラ、今年一パイ位經テ見マスト、需給上相當裕リガ出テ來ルヤウニ迄致シタイト實ハ考ヘテ居リマス、デ、是ハ申上ゲル迄モナク、先年來無線ニ付キマシテハ供給數ガ非常ニ少カッタ爲ニ、隨分海運界ニ於テ御苦心ヲ爲サレタヤウナ事態ガアツタト承ッテ居リマス、從ッテ供給數ガ非常ニ僅少デアリマス場合ニ於キマシテハ自然サウ云フ困難ナ支障ガ多クナル譯デアリマスカラ、其ノ點ニ付キマシテ特ニ意ヲ用ヒマシテ、其ノ供給數ガ適當ヲ

得ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○村田省藏君 御承知ノ通り、此ノ無線電信技師ハ船舶バカリデナシニ、飛行機ニモ或ハ其ノ他軍ノ方ニモ入用デアアルノデアリマスガ、相當ノ數ガ今後飛行機ノ發展其ノ他ニ伴ッテ、無線電信技師ヲ要スルノデナイカト思フノデアリマス、ソレデ電信協會ノ學校ニ於ケル人員ヲ殖スダケデ果シテ宜イカドウカ、又地域のニモ關西方面ニモ一校何カヲ御設ケニナル御意思ハゴザイマスマイカ

○政府委員(伊勢谷次郎君) 電信協會ノ方ハ思ヒ切ツタ養成數ノ増加ヲ御願ヒシテ居ルノデアリマスガ、尙其ノ外ニ於キマシテモ、實ハ目下考慮中デアリマスルノハ、今度岡山縣ノ商船學校ガ普通海員ノ養成所ノ方ニナリマスノデ、其處ニ無線科ヲ併置致シタイト存ジマシテ、只今研究中デゴザイマス、尙御參考ニ申上ゲマスガ、昭和十四年ニ於キマシテハ養成數ハ、百八十三人、十五年ニナリマススト云フト、ソレヲ二倍以上ニシマシテ、三百八十五人、十六年ニ於キマシテハ四百八十人、斯ウ云フヤウニ相當激増スルヤウニ考慮シテ居ル次第デアリマス

○委員長(伯爵後藤一藏君) ソレデハ他ニ御質問ガナケレバ、牧商工省保險局長ニドウゾ……

○橋本辰二郎君 海上保險ニ關シテノ質問ヲ大臣ニ致シマシタガ、政府委員ヨリ詳細ナル説明ヲスルト云フコトデアリマシタ、何カ大臣ヨリ御聽キニナリマシタカ

○政府委員(牧橋雄君) マダ承ッテ居リマセヌガ、今鑛山局長カラ簡單ニ要旨ヲ伺ッテ居リマスガ、ソレデ一應御答ヘ致シマス、海上保險ノ料率ニ關シマシテ御尋ガゴザイマシタガ、海上保險ノ料率ハ普通海上保險ニ於キマシテハ遠洋航路ニ付キマシテハ世界のノ相場ガゴザイマシテ、是ハ御承知ノ通り再保險交換ノ爲ニ世界のノ相場ガ出來テ居リマス、ソレ等ノ關係カラ致シマシテ、日本ノミガ特ニ高イトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ近海航路ニ付キマシテモ、別段他ノ國ニ比較致シマシテ、高過ギルトハ思ッテハ居リマセヌガ、適當ニ是ハ監督致シマシテ、日本ノ對外發展ニ對シマシテ非常ニ影響ガゴザイマスルカラ、適當ニ指導的ノ監督ヲシタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ戰爭保險ニ付キマシテハ、實ハ「チェッコ」問題ノ時ニ地中海附近デ著シイ値上リガアツタノデゴザイマス、併シナガラ我が國ノ業者ト致シマシテハ、英國ヨ

リモ遙カニ低イ料率ヲ維持シタノデゴザイマス、支那近海ノ料率ニ付キマシテモ、英國ヨリモ遙カニ低イ料率デアリマシタルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラモウ一點ハ再保險ノ國營ニ關スル問題デアツタト思ヒマスルガ、御承知ノ通り損害保險ハ非常ニ國際性ガアルノデゴザイマス、從ッテ我が國デ直チニ再保險ヲ國營ニスルト云フヤウナコトニ致シマス、其ノ影響ハ相當アルノデゴザイマシテ、御承知デモゴザイマセウガ、最近再保險ノ「プール」ヲ作リマシテ、出來得ルダケ内地ノ保有量ヲ殖サウト云フ申合セヲ致シテ居リマス、是等ニ對シマシテモ、從來ノ交換ヲ致シテ居リマスル諸國カラ、實ハ苦情ガ大分來テ居ルヤウナ譯デゴザイマス、從ヒマシテ是等ノ種々ノ點ヲ考ヘマシテ、再保險ヲ國營ニスルト云フ點ニ付キマシテハ勿論重要ナ問題ト致シマシテ、研究ハ致シテ居リマスルガ、此處デヤルトカヤラナイトカ云フヤウナコトヲ御答ヘスル程度ニハナツテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ英國トカ他ノ國トノ關係ニ付テノ御話デゴザイマスガ、之ニ付キマシテモ、英國カラ海上保險等ニ於キマシテ、非常ニ左右サレテ居ルトカ云フヤウナコトガアルカナイカト云

フヤウナ御尋ガアツヤウデゴザイマスガ、御承知ノ通り此ノ海上保険ノ危険分散ノ必要カラ、

「ロンドン」市場等トハ密接ナ連絡ヲ執ラナケレバナラナイト、サウ云フヤウナ關係カラ從來取引盛ニヤツテ居ル譯デアリマスガ、最近ニ於キマシテハ日本ノ此ノ海上保険ガ非常ニ進歩致シマシテ、其ノ事實ハ申上ゲラレマセヌガ、却テ或事實ニ於キマシテハ「ロンドン」ノ申出ヲ拒絶致シマシテ、コナラノ主張ヲ通シタト云フヤウナ事例モゴザイマス、相當今後ノ發展ニ依リマシテ、サウ云フコトノナイヤウニナルダラウト思ヒマス、勿論我方國ノ此ノ海上保険ト云フモノノ確立ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ點ハ十分痛感シテ居ル次第デゴザイマス、何カ御答漏ガゴザイマシタラ……

○橋本辰二郎君 アナタノ御話ニ依レバ、只今ノ現今行ハレテ居ル所ノ外國航路ノ保険料ト云フモノハ、是ハ世界的ノ標準率ガアツテ、決シテ日本船ノミガ高クナイト云フヤウニ承リマシタガ、外國ノ船モ日本ノ船モ率ハ同ジト云フコトデスカ

○政府委員(牧橋雄君) 是ハ御承知デモゴザイマセウガ、盛ニ再保險ヲ交換シテ居リマス關係上、一定ノ世界的ノ相場ガゴザイマシテ、ソレニ依ッテヤツテ居ル譯デゴザイ

マス、從ッテ差異ハナイト申上ゲタノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 内地ノ保險會社ガ「ロンドン」ニ再保ニ出ス率ト自己ノ責任ニ於テ危險ヲ負擔スル率ハドウ云フ割合ニナツテ居リマスカ

○政府委員(牧橋雄君) 再保險ニ出スモノト自社ノ危險ニ於テ保險スルモノトニ於キマシテハ差異ガゴザイマスガ、ソレ等モ會社ノ規模、ソレカラ業務ノ狀態等ニ依ッテ一率ニハ行ッテ居ラナイノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 再保ニ出ス率ハ、サウスルト各會社ガ區々ニ、勝手ニナツテ居ルト云フノデゴザイマスカ、何デモ保險ト云フモノハ協同會ト云フモノガアツテ、協同會デ總テ纏メテ出スヤウニ聞イテ居リマスガ、サウデナイノデスカ

○政府委員(牧橋雄君) 船舶保險協同會ニ屬スルモノニ於キマシテハ協定デヤツテ居ル譯デゴザイマス

○橋本辰二郎君 其ノ割合ハ……

○政府委員(牧橋雄君) 一物件ニ付キマシテ五百萬圓以下ノモノデゴザイマスルト、大體昨年ノ八月船舶特別再保險組合ト云フモノヲ作りマシテ、一物件五百萬圓以下ノ船體ハ全部内地消化スル、再保ニ出サナ

イト云フ取極ヲシテ居リマス、サウシテ其ノ再保ヲ交換スル率等ハ、其ノ各社ニ依ッテ定メテアルノデゴザイマスガ、五百萬圓ヲ超エルモノニ付キマシテハ從來外國會社ト取引シテ居ッタモノガゴザイマスガ、ソレ等ノモノト一定ノ率ヲ定メマシテ、再保ニ出スト云フヤウナコトニナツテ居リマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマス、一隻五百萬圓迄ノ保險金ノ船舶ニ於テハ内地ノ保險會社間ニ於テ再保ヲ引受ケル、其ノ以上ノモノニ付テハ外國ニ再保ニ出スト、斯ウ云フノデスカ

○政府委員(牧橋雄君) 左様デゴザイマス

○橋本辰二郎君 サウシテ内地ノミデ消化シテ居リマスル保險料ト、矢張り外國ノ保險料トノ比較ハ何レガ高く、何レガ安クナツテ居リマスカ、何カ御調ガアリマスカ

○政府委員(牧橋雄君) 昨年ノ八月ニサウ云フ取極ヲ致シマシテ、其ノ後ノ實績ニ依ル數字ハマダ調べテ居リマセヌ

云フモノハ對物デナクシテ對人デアルト云フヤウナ傾向ガアル、火災保險ノ如キハ對物ニ重キヲ置イテ、對人ト云フコトハ殆ドナイヤウデス、處ガ獨リ船舶ノ保險ニ限ッテ大イニ其ノ對人ト云フコトヲ加味スル傾向ガアル、船ヲ持ッテ居ッテモ、甲ノ會社ノ持ッテ居ル船デアレバ、三分デアル、乙ノ會社デハ五分ダト云フヤウナ、斯ウ云フヤウニ取扱ガ區々ニナルト云フコトヲ聞キマシタ、是ハ甚ダ何ト申シマスカ、弱イ者イデメデ、不都合デハナイカト、斯ウ思フノデアリマス、ソレカラ尙斯ウ云フコトモ聞キマシタガ、例ヘバ百萬圓ノ保險ヲ附ケテ居ル、是ナラ五分ダ、モウ段々船ガ古クナルト、船價ガ安クナル、是ハ八十萬圓ニ下ゲヤウ、八十萬圓ニ下ゲテ宜シイ、其ノ代リニ率ヲ上ゲテ六分ニスル、保險會社ト云フモノハ或ハ船ニ對シテハ是ヨリ取リ上グベキ保險料金ト云フモノヲ自分デ極メ込シテ居ル、ソレハ殆ド動カサナイ、若シクハ百萬圓ノモノヲ五分ニシテ居ル、百二十萬圓ニシタナラバ四分五厘ニシテヤラウ、斯ウ云フヤウナコトヲシテ、其ノ率ノ變更其ノ他ヲ以テ危險ニ按分スルデナクシテ、單ニドウモ人ニ依リ又此ノ船ニ對シテハ是ダケノモノヲ必ズ取ラナケレバナラヌト云フヤ

ウナコトヲヤルト云フヤウニ、屢、海運業者カラ、我々ハ何ト云ヒマスカ、「コンプレイン」スルヤウナコトヲ聞イテ居ル、是等ガ横暴デアルトカ何ト云フヤウナコトデハナカラウカト思ヒマスノデ、サウ云フコトニ付キマシテ政府ノ方デハ調ベタコトガアリマスカ

○政府委員(牧橋雄君) 保険料率ニ付キマシテ對人的ニ差異ガアルト云フコトハナカラウカト思ヒマスガ、其ノ保險物件ニ付キマシテ色々ナ標準ガアリマス、殊ニ船ニ至リマシテハ最近ノ捕鯨船等ニ於キマシテハ、保險ノミニ依ッテ保險料率ヲ定メルト云フヤウナコトヲヤリ兼ネル場合ガアルシク思ヒマスガ、例ヘバ技術ガ非常ニ優秀ナ者ガ乘リ込ンデ居ルトカ、何トカノ場合ニサウ云フ點ノ考慮ガアルト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ後デ御話ノゴザイマシタ點ハ、是ハ事實サウ云フ苦情ヲ聞イタコトデゴザイマシテ、幾分其ノ嫌ヒガアリハシナイカト云フヤウナ事實ヲ聞イタコトガゴザイマス、今後は等ノ點ハ若シ尙アルト云フコトデゴザイマスナラバ、今回御協賛ヲ經マス法律ノ運用ニ依リマシテ、例外トシテ除去スルヤウニ努メタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 私ノ只今申上ゲマシタ保險會社ガ船舶ノ狀態其ノモノヲ對象トセズ

シテ、持主ニ依ッテ保險料率ヲ異ニスルト云フコトハ今日公然行ハレテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、デ、是等ハ先程申シマシタヤウニ小サイ船主ライデメルヤウナ傾キガアリマシテ、今日ノ社會正義ニ反スルト思フノデアリマス、監督ノ衝ニ當ッテ居ラレマス所ノ商工省ト致シマシテハ、斯ウ云フノヲ看過セラレルト云フコトハ私ハ宜シクナイト思ヒマス、今後十分ニ御監督ニナリマシテ、物ヲ見ズシテ單ニ人ニ依ッテ料率ヲ異ニスルト云フヤウナコトノナイヤウニ努メラレルヤウニ私ハ望ミマス、又人ニ依ッテ危險率ガ多イト云フヤウナコトヲ言フカモ知レマセヌガ、船長等ヲ採用致シマスニシテモ、此ノ保險會社ノ承諾ヲ經ナケレバ乘船サセルコトガ出來ナイト云フヤウナ實際ノ有様デ、保險會社ガ此ノ船長デアレバ確實デ、決シテ危險ハナイト云フ自信ガ附カナケレバ、同意ヲ與ヘナイノデアリマスカラ、其ノ船ニ對スル危險率ト云フモノガ持主ニ依ッテ違フ筈ガナイノデアリマシテ、今日現ニ行ハレテ居ルヤウナ持主ニ依ッテ保險率ヲ異ニスル、若シクハ保險金額ノ増減ニ依ッテ率ヲ勝手ニ動かスト云フ風ナ不合理ナコトノ行ハレヌヤウニ、特別ナル一ツ監督ヲ御願ヒ致シマス、是ハ當然國家トシテ

發動スベキ事柄ト考ヘマス、ドウカ其ノ點ヲ御願ヒ申シテ置キマス

○政府委員(牧橋雄君) 今申上ゲマシタ通りニ、唯單ニ人ニ依ッテ料率ヲ異ニスルト云フヤウナコトハ、サウアリ得ベキコトデナイト考ヘテ居リマス、御趣旨ノ點ハ能ク承知シテ居リマスカラ、今後サウ云フ場合ノナイヤウニ致シタイト考ヘマス

○委員長(伯耆後藤一藏君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌケレバ、村田サニニチヨット申上ゲマスガ、板垣對滿事務局總裁ハドウシテモ已ムヲ得ナイ用事デ御出席ガ出來ナイサウデアリマスカラ……

○政府委員(竹内徳治君) 先程事務局總裁ヨリ御答スルヤウニト云フコトデアリマシタガ、只今委員長ヨリ據ナク今日出席ハムツカシイト云フコトデゴザイマスノデ、根本ノ方針ニ付テハ總裁ヨリ答辯サレルコトト存ジマスガ、先程御話ノ中ニ二三具體的ノ資料モゴザイマスノデ、私ノ御答ノ出來マス範圍ヲ一應申上ゲマスカラ、尙御不足ノ點ガゴザイマスレバ、改メテ總裁ニ對シテ御質問ヲ願ヘマスレバ仕合セデゴザイマス、先ヅ質問ノ中ニ此ノ海事行政ノ統一ト申シマスカ、此ノ問題ハ此ノ場合ニ現在ノ關東州、具體的ニ申シマスレバ、大連汽船會社、

是ハ御承知ノ通り關東州ハ現在日本ノ一外地トシテ扱ッテ居リマシテ、是ハ滿洲國トハ全然別モノデゴザイマス、從ッテ之ニ當リマス船舶行政ハ朝鮮、臺灣ナドニ於キマスと同ジク、日本ノ外地行政トシテ扱ッテ居ル譯デゴザイマス、其ノ外ニ統治上内地ト全ク一個ノモノニナッテ居ラス事情ニ付キマシテハ屢、御質問モアリ、政府ノ答辯モ致シテ居ル事柄デゴザイマスルガ、外地ニ所謂綜合行政ノ一部ニ、船舶ニ關スル行政モ入ッテ居リマスル關係上、未ダ屢、各方面カラ要望ガアルニ拘ラズ實現シナイヤウナ譯デアリマス、併シ私共ト致シマシテハ根本的ニ此ノ海事行政ノ統一ニ反對ガアル譯デハナイノデアリマシテ、唯之ヲ實行スルニ當ッテ他ノ産業行政ナリ、陸上ノ交通ナリ、ソレ等ト密接ナル關係ガアリマスル爲ニ、之ヲ如何ナル方法デ具體化スルカト云フコトニ付テノ研究ガ未ダニ進ンデ居ラス結果ト、甚ダ不滿ノヤウデアリマスガ、左様御了承ヲ願ヒタイ、併シナガラ現在ハ法規ガ違ッテ居リマスルガ、例ヘバ先般施行サレマシタ臨時船舶管理法ノ規定ニ於キマシテハ、關東州ニ於テ軍事専門ノ管理令、之ニ對應スルモノヲ出シテ居リマシテ、遞信省ハ全ク同一ノ步調ヲ以テ行政ノ運行ニ當ッテ居ル

コトハ、是亦御承知ノ通りデアリマス、現在百「トシ」ノ船一隻ノ移轉ヲ致シマスルニモ一々通信當局ト協議ノ上之ヲ實行シテ居ル、斯ウ云フ狀況ニナッテ居リマス、又汽船會社自體モ、内地ノ海運會社ト共同ノ歩調ヲ以テ此ノ時局下ニ經營、國策ニ協力シツツ經營ヲヤッテ居ルコトモ御承知ノ通りデアラウト思ヒマス、ソレカラ第二ノ日滿兩國政府間ニ何カ海運政策ノ根本方針ニ關シテ協定ノヤウナモノガアルカト云フ御尋デアッタカト思ヒマスガ、別段改テ協定ト云フモノ現在出來テ居リマセス、唯滿洲建國ノ本旨ニ鑑ミマシテ、所謂日滿一體ノ原則ニ依ッテ總テノ制度、行政ト云フモノハヤッテ居ラレルト云フコトハ當然デアリマス、具體的ニ申シマスト、先程御心配ニナッテ居リマス如ク、滿洲國自體ニ自ラ商船隊ヲ持ッテ對外航路、歐羅巴「アメリカ」ナリニ行ク航運ヲ致サウト云フコトハ、現在滿洲國政府トシテ毛頭持ッテ居ラスト申上ゲテ差支ナカラウト思ヒマス、唯先程御話ノゴザイマシタ滿洲大豆輸出ノ爲ニ、何カ汽船會社ヲ計畫シテ居ルト云フヤウナ御話ガゴザイマシタケレドモ、私共トシテモ實ハ是ハ噂トシテ耳ニシタコトガゴザイマスガ、是ハ現在ノ滿洲ニ於キマシテ爲替獲得ト云フコ

トニ非常ナ熱意ヲ持ッテ居ルコトハ御想像ニ難クナイ所デアリマス、現在滿洲ト致シマシテハ其ノ重要ナ特產物ノ輸出ニ於キマシテモ、或ハ産業建設ニ要シマスル諸般ノ資材ヲ輸入スル場合ニ於キマシテモ、悉ク是ハ運賃ト云フモノヲ外國ヘ拂フ形ニナッテ居リマス、此ノ運賃ヲ一部デモ「セーヴ」スルコトガ出來レバ、滿洲國爲替政策上非常ニ援カルト云フ見地カラ致シマシテ、何等カ日本ノ船デモ使ッテ滿洲大豆ヲ向フニ輸出スルコトガ出來レバ、其ノ爲替上利益スル所尠クナイ、サウ云フ風ナ考カラ、何ガシカ先程御質疑ノヤウナ案ガアッタト云フヤウナコトモ伺ッテ居リマスガ、終ニ實現ハシテ居リマセス、ナカノムツカシイ問題ダト云フヤウナコトヲ伺ッテ居リマス、ソレカラ今申上ゲマシタヤウナ關係デ滿洲自體ニ獨自ノ船舶會社ヲ持チ、滿洲國旗ヲ掲ゲテ、之デ外國航路ニ從事スルト云フコトハ考ヘテ居リマセス、大連汽船會社ハ先程申上ゲタ如ク、是ハ關東州ニゴザイマス會社ノ日本國旗ヲ掲ゲタ日本船舶デアリマス、船舶法上ノ日本船舶トハ少シ意味ガ違フカモ知レマセヌガ、日本ノ船タルコトニ違ヒハアリマセヌ、決シテ滿洲國ノ船デハナイ譯デアリマス、ソレカラ日本海ニ此ノ度北緯ト裏日本トノ間

ニ直通航路ヲ經營スル一ツノ會社ヲ作ルト云フ計畫ニ付キマシテハ、是ハ既ニ御承知ノ如ク先般政府ノ方針モ決リマシテ、現在通信當局ニ於テ之ガ設立ニ關スル具體的計畫ヲ進メラレテ居ル譯デアリマスガ、是ハ此ノ會社ノ設立ヲ最モ急トスルニ至ッタ事情ト致シマシテハ、是ハ亦御承知ノ如ク日本ノ移民國策ニ順應致シマシテ、移民ノ輸送路トシテ裏日本北緯航路ト云フコトガ非常ニ重要ニナッテ參ッタコトト、兼テ又移民ノ入植其ノ他ニ關シマシテ東北滿洲ト云フコトガ開發セラル、ニ至リマシテ日本海航路ノ重要性ガ非常ニ増シテ參ッテ居ル關係上、茲ニ新ラシク強力ナル汽船會社ヲ作ッテ十分ニ活動スルト云フコトニ相成ッテ現在計畫中デゴザイマスガ之ニ對シテ先程ノ御尋ネデハ滿洲側カラ何故半額モ資本ヲ押込的ニ出スヤウナコトニナッテ居ルノカト云フヤウナ御尋モアッタト存ジマスガ、之モ既ニ十分御承知ノコトト思ヒマスガ、色々ノ事情ガゴザイマシテ、各方面トモ關係アルガ爲、政府トシテハ一應サウ云フヤウナコトニナッテ居リマスガ、此ノ會社ハ先程モ申上ゲタ如ク、移民ノ輸送ト云フヤウナコトガ差當ッテノ大キナ目的デゴザイマシテ、從ッテ貨物ノ方ハ之ニ比例シテ直チニ殖エ

ルト云フコトガ期待致シ兼ねル、其ノ結果相當大キナ補助金ヲ要スル會社デアルコトモ御承知ノ通りデアリマス、此ノ航路經營ノ會社自體ガ非常ナ所謂利益ノアル會社トナルト云フコトハ、極ク近イ將來ニハ期待出來ナイ、斯ウ云フ風ナ關係モアリマスノデ、航路補助ト云フノハ滿洲國政府ニ於テモ之ヲ出ス意思ガアル、日本政府トシテモ今迄以上ニ相當額出スコトト思ハレルノデアリマス、サウ云フ風ナ關係カラ致シマシテ、現在滿洲ニアリマス、大連汽船會社、最近ニ於キマシテハ狀況モ頗ル好調デゴザイマス、斯クノ如キ國策的ノ會社ニ對シテ、其ノ力ノ一半ヲ割イテ之ニ出資スルト云フヤウナコトモ適當デアラウト云フヤウナ意見カラ、斯ウ云フ風ナ結果ニ相成ッテ居ルコトト私トシテハ承知シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ最後ニ對支海運會社ノ問題デアリマス、チヨット委員長速記ヲ止メテ……

○委員長(伯備後藤「藏」) 速記ヲ止メテ……

午後三時五十八分速記中止

午後四時十三分速記開始

○委員長(伯備後藤「藏」) ソレデハ速記ヲ始メテ……今日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、明日ハ午前十時カラ開會致シタイと思

ヒマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵後藤 一藏君

副委員長 男爵深尾隆太郎君

委員

子爵秋元 春朝君

子爵米田 國臣君

子爵秋田 重季君

大橋 八郎君

男爵井上 清純君

橋本圭三郎君

坂野鉄次郎君

堀 啓次郎君

石川 三郎君

橋本辰二郎君

岩田 宙造君

松岡 潤吉君

村田 省藏君

國務大臣

商工大臣兼拓務大臣 八田 嘉明君

政府委員

對滿事務局事務官 竹内 徳治君

陸軍少將 町尻 量基君

文部省實業學務局長 小笠原豐光君

商工省鑛山局長 小金 義照君

商工省保險局長 牧 樽雄君

遞信政務次官 平川松太郎君

遞信參與官 上田 孝吉君

遞信省管船局長 伊勢谷次郎君

拓務省殖産局長 植場 鐵三君

拓務書記官 森重 干夫君

朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

臺灣總督府財務局長 嶺田 丘造君

保險院長官 進藤 誠一君